

≡明星【白川小だより】≡

学校HPへ
QRコードで
検索を！！



令和3年3月15日発行
第 58 号
文責：三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～



＜新たな旅立ちまであと数日＞←3月19日(金)卒業証書授与式

6年生が登校するのもあと4回となりました。いよいよ今週の金曜日が卒業証書授与式になります。式の練習も当日と同じ内容で練習が始まってきています。

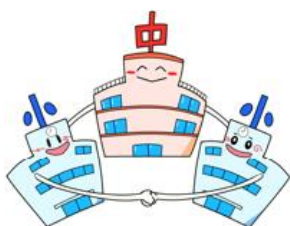
□人として、人生の先輩として……

6年生の皆さんは学習のまとめも終わりに近づき少しくつろいだ気分で話し合える時になったのではないのでしょうか。目前にせまった「新たな出発点」に立つ心境にある今、無我夢中で進んできたこれまでを振り返り、自分の立っている道を考えることは、たいそう意義深いことです。ここでこそ、家族として、人生の先輩として、自分の経験をもとに人生の苦渋や喜び、人間関係の大切さと難しさ、現代社会の世相や問題など、対等の立場の人に対するように話し聞かせたいものです。



そして、先祖から連綿と続く歴史の端につながる自分、現在の様々な人や社会とつながっている自分……「自分の座標」を確かめ、「自分の道」をいっそう強く自覚させたいものと思います。

中学校への新たな旅立ちは、みんなが初めて迎える経験であり、そこでの生活によって自己の進む道が変わってくるのは当然のことだと思います。しかし、そんな時にこそ、周りの人への思いやりを持つことや、人と協力し、助け合ったりすることができる人になってほしいものです。みんなは幼稚園や保育園→小学校といろいろな人と関わって生きてきましたが、卒業とともに、より大きい海へ船出をするわけです。自分と違う意見を持つ友人と出会うこともあると思います。そこで、お互いを尊重しあい、励まし合ったりすることができてこそ一人前の大人への第一歩だと言えるのではないのでしょうか。人の心の痛みを考えて行動することは、義務教育という9年間では答が出ず、みんながこれから考え続けなければならない問題であると思います。卒業式を間近にひかえ、最後の授業である卒業式を全員で最高のものにするとともに、下記にある中学生の手記を送りたいと思います。



自分と違う意見を持つ友人と出会うこともあると思います。そこで、お互いを尊重しあい、励まし合ったりすることができてこそ一人前の大人への第一歩だと言えるのではないのでしょうか。人の心の痛みを考えて行動することは、義務教育という9年間では答が出ず、みんながこれから考え続けなければならない問題であると思います。卒業式を間近にひかえ、最後の授業である卒業式を全員で最高のものにするとともに、下記にある中学生の手記を送りたいと思います。

「峠」

峠、私はこの言葉を聞くと、ため息をつく。それは、これからいろいろな峠が待っているから。だれにでも峠はあると思う。私にも皆と同じようにいろんな峠に出会うと思う。

自分にとって、その峠の中の最大のものはなんだろうか。どんなことをしても、自分の人生なんだから、私自身がのぼりきらなくてはいけないし、にげることのできない峠だと思う。

でも、険しい峠ものぼってきた人達。本当に苦しい中をのぼりきってきて自分をかちとってきた人達。すごいと思う。

実は、私は、峠を自分ひとりの力ではどうすることもできないと思う。峠のまん中で立ちすくんでしまうような気がする。でも、本当に力になってくれるなかがいれば私は変わってゆけると思う。

～ 中略 ～

私も大人になったら、いろんなことを教えて上げたいし、自分自身も学びとっていきたいと思っている。

これから私自身、高い峠に向かって一步一步、歩きだしていこうと思う。私には、みんながついているから。のぼりきったときには、きっときれいな景色が待っていることを信じて……でも、

峠を登るまでの汗を大切に！！



<避難訓練(不審者侵入時)>←3月11日(木)

不審者が侵入してきたときの基本行動と対処方法を理解して自分たちで判断して行動する力を身につけることを目的として、不審者侵入を想定して3回目の避難訓練を行いました。子どもたちは、避難指示から避難完了まで話し声もなく学級でかたまつて2分弱で体育館に避難できました。予期せぬ不審者侵入や土砂災害等の有事の際に、子どもたちが自ら自分の命を守れるように危機管理意識をもってもらいたいと願います。

また、子どもたちが非常食のアルファ米を持ち帰りましたがいかがでしたでしょうか?ご家庭においても、有事の時について話し合いいただけたらと思います。



<自主学習の薦め>←6年生学習方法を後輩に伝授

6年生の子どもたちが、自主学習のおすすめの取り組み方を校長室前に掲示してもらいました。学校で学習した内容をより確実なものとするために、オリジナルに溢れた学習の仕方をノートにまとめてありました。1年生の子どもたちも興味深そうに見て、担任の先生に質問などをして参考にしてしている様子がありました。在校生の皆さんは参考にして、自分の学習を確実にしてもらいたいと思います。



＝白川小コラム(卒業式 Ver2)＝

NBA 元シカゴ・カブス マイケル・ジョーダン選手の言葉を紹介します

「君には、無理だよという人の話を聞いてはいけない。もし、自分で何かを成し遂げたかったらできなかったときに他人のせいにしないで、自分のせいにしなさい。多くの人が、おまえには無理だよと言った。その人たちは自分に成功して欲しくないんだ。なぜなら、彼らは成功できなかったから、途中で諦めてしまったから、自分にも夢を諦めてほしいんだ。決して諦めてはいけない。自分の周りをエネルギーで溢れしかりした考えを持った人でかためよう。自分の周りをプラス思考の人でかためよう。近くに誰か憧れる人がいたら、その人にアドバイスを求めよう。自分の人生を考えることができるのは自分だけだ。自分の夢が何であれ、それに向かっていくな。」

なぜなら、自分たちは幸せになるために生まれてきたんだから」

